

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	松本短期大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
---	幼児保育学科	夜・通信			67	67	7	
	介護福祉学科(新課程)	夜・通信			49	49	7	
	介護福祉学科(旧課程)	夜・通信			48	48	7	
	看護学科	夜・通信			62	62	10	
(備考) 介護福祉学科(1年は新課程、2年は旧課程) 看護学科(令和3年度募集停止)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.matsutan.jp/college/report

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本短期大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.matsutan.jp/college/report>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市町村 議員	2018. 5. 29～ 2022. 5. 28	産学官・社会連携関係
非常勤	学校法人 理事長代行	2018. 5. 29～ 2022. 5. 28	教務・入学試験関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松本短期大学
設置者名	学校法人松本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 教育課程委員会が主となり、作成過程(スケジュール)ならびに記入項目の検討を行ったのち、授業担当者へ執筆の依頼を行う。原稿集約後は、各学科ならびに事務局教務部の学科担当、教育課程委員会が点検を行う。</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成・公表時期】 例年4月以降に、インターネット(本学ホームページ)および紙媒体による公表を行っている。</p> <p>【シラバスに記載している主要な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要(科目名、単位数、必修選択別、授業形態、開講年次、開講時期、担当教員) ・授業内容(授業計画、授業概要、事前・事後学修) ・実務経験と授業科目との関連性 ・到達目標 ・成績評価方法 	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ https://www.matsutan.jp/college/report ・ 刊行物(シラバス〈履修ガイド〉) [入手方法: 本学事務局]
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の履修の修了の認定は、定期試験、実技試験、レポート評価、提出物など授業科目ごとに学習計画書(シラバス)に示された方法を用いて学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位の認定を行っている。</p> <p>また試験の受験資格(各授業科目時間数の3分の2以上の出席など)を設けるなどの対応を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、学業成績を総合的に判断する指標としてGPAを導入している。

【評価基準】

区分	評価	成績評価基準(点数)	GP	評価内容
認定	秀	100-90	4.0	特に優秀な成績
	優	89-80	3.0	優れた成績
	良	79-70	2.0	良好な成績
	可	69-60	1.0	合格と認められる最低限の成績
不認定	不可	60点未満	0	不合格
		未受験 等	0	未受験等により評価できない

【GPA 算出方法】

$$\frac{(4.0 \times \text{秀の単位数} + 3.0 \times \text{優の単位数} + 2.0 \times \text{良の単位数} + 1.0 \times \text{可の単位数})}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}} = \text{GPA}$$

【公表】

- ・GPA等の客観的な指標は、ホームページで公表している（『教育課程・学生生活ガイド』内の「履修の手引き－GPA制度について」）
- ・学生とその保護者には、学生本人の半期(前期・後期)ごとの学業成績を公表している。

【成績評価の適切な実施に係る取組】

- ・成績評価については、上記のようにあらかじめ設定した評価基準、GPA算出方法により、GPAの数値を算出し、適切に実施している。

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://www.matsutan.jp/college/report>
 ・刊行物（教育課程・学生生活ガイド）[入手方法：本学事務局]

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取り組みの概要)

本学の「建学の精神」「教育の理念」「教育目標」に基づいて設定した各学科の教育目標を受ける形で、卒業の認定方針（学位授与の方針：ディプロマ・ポリシー）を策定している。卒業の認定に関する方針の具体的な内容は、各学科の修業年限以上在学し、本学の「建学の精神」「教育の理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、各学科の到達目標に達した人材であるとして、適切に卒業を認定している。このことは、本学のホームページならびに刊行物（教育課程・学生生活ガイド）等で公表している。

なお、卒業認定については、各学科での卒業判定会議および教授会の議を経て、卒業を認定し、学位を授与している。

卒業の認定に関する方針の公表方法

<https://www.matsutan.jp/college/report>
 ・刊行物（教育課程・学生生活ガイド）[入手方法：本学事務局]

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	松本短期大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.matsutan.jp/college/report
収支計算書又は損益計算書	https://www.matsutan.jp/college/report
財産目録	https://www.matsutan.jp/college/report
事業報告書	https://www.matsutan.jp/college/report
監事による監査報告(書)	https://www.matsutan.jp/college/report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.matsutan.jp/news/8176.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児保育学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report) (概要) 本学科では、本学の建学の精神、教育理念・教育目標により、以下の教育研究上の目的を掲げている。 <ul style="list-style-type: none">・保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。・ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。・保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。・地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report) (概要) 各学科、定められた修業年限以上の在学ならびに、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を取得した学生は、次の到着目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与する。 <ul style="list-style-type: none">・基本的教養を身につけ、誠意と思いやりのある豊かな人間性を持ち、保育及び幼児教育のケアスペシャリストとしての倫理観を備えている。・保育及び幼児教育に関する基本的知識と技術を幅広く習得している。・反省的・創造的に保育及び幼児教育活動に取り組むための基盤となる子どもの理解力、保育実践力を身につけている。・子どもの成長と発達について理解し、子どもの視点に立ってその最善の利益を保證できるように思考力と実践力を身につけている。・子どもの感性を高める豊かな創造力と想像力を備えている。・社会福祉全般に関する知識を持ち、子どもの最善の利益を軸とした分析力と判断力を身につけている。・保護者支援に関わる原理・原則の理解及び地域・関連機関との連携を可能とする実践力を身につけている。・自立した個人として、また保育及び幼児教育のケアスペシャリストとして主体的に学び続け、生涯にわたって自己の成長を追究できる力を備えている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report) (概要) 教育目標とそれに関わるディプロマ・ポリシーに鑑み、保育及び幼児教育に関わる課題を、理論と実施の両面から思考し、また実践できる能力を養うため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成している。授業科目は、教養基礎科目と専門教育科目があり、これを2年間に配当している。 <ol style="list-style-type: none">(1)教養基礎科目は、本学の目標である「命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリストの育成」という観点から、3学科共通の教養基礎科目の枠組みに基づき編成している。(2)専門教育科目は、「保育の内容」「子どもの成長と発達」「感性を高める想像力と創造力」「児童家庭福祉」「保育者支援」「保育実践力」「教養力」「自己形成」の各分野から配置している。

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p> <p>(概要) 豊かな人間性を備えたケアスペシャリストをめざし、専門知識と技術を身につけ、地域社会に貢献できる人を育成する。それに基づき、幼児保育学科では、以下のような学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの育ちと生活に興味・関心がある 2) 誠実に人と向き合える 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる 4) 学びや体験の機会に意欲的に取り組むことができる 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある
<p>学部等名 介護福祉学科 (新課程)</p> <p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p> <p>(概要) 本学科では、本学の建学の精神、教育理念・教育目標により、以下の教育研究上の目的を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。 ・社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。 ・地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p> <p>(概要) 各学科、定められた修業年限以上の在学ならびに、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を取得した学生は、次の到着目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かいこころと豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。 ・介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。 ・根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。 ・常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追究できている。 ・介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p> <p>(概要) 教育目標とそれにかかわるディプロマ・ポリシーに鑑み、以下の方針にそってカリキュラムを編成している。</p> <p>授業科目は、教養科目、人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアがあり、これらを2年間に配当している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養科目は、専門職としての価値・知識・技術を持ち、成長し続ける力を養うための土台作りの科目として編成されている。豊かな人間性を育むための、短期大学での学び

方の基礎を身につけ、進路選択・進路設計を考えることを中心とする。

・人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアは、介護福祉士国家試験受験資格に関わる科目である。

「5つの到達目標」に関連する科目構成と達成するための工夫

- (1) 介護福祉士の仕事は人間を対象とする。なかでも高齢者や障がい者と接する機会が多い仕事であるため、尊厳を守るといった価値・対人援助に関する知識・技術が必要である。したがって、社会の中で人間を捉え、人との関わり方を重視し、自己の感性を高めていくとともに、相手の立場に立って考える力や信頼関係の構築に役立つ科目構成としている。
- (2) 幅広い視野に立つためには、介護や福祉の理念や生活に関連する法律についての知識も必要になる。また、単なる知識の修得にとどまらないよう、領域「人間と社会」の中の社会の理解に関する科目を多く設定し、実際の社会問題に関するディスカッションを通じ、介護福祉士として対象者の尊厳と権利を守ることができる科目構成としている。
- (3) 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応するため、各領域から得られた知識・技術を統合し、アセスメント能力を高め実践力をつけることが必要である。生活支援技術では、生活の質を向上する根拠をもった基礎的な技術から、人生の質の向上するための支援まで、幅広い視野に立った介護過程の展開ができるように、介護実習で実践力を養う構成としている。
- (4) 地域に開かれ地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるような科目構成としている。また、地域において介護実践力を高められるよう、多職種との連携・地域の理解を複数の科目と介護実習で段階的に学んでいく横断的な校正としている。
- (5) 介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、2年次には介護福祉研究に取り組み、その成果を発表している。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.matsutan.jp/college/report>)

(概要)

本学は、「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としている。このことに共感し、豊かな感性を備え人と関わり、専門知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学生を求める。

- 1) 介護福祉や社会福祉に関心をもち、学ぶ意欲をもっている
- 2) 人の立場になって考えることができる
- 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- 4) 人と共に協力して活動に取り組むことができる
- 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある

学部等名 介護福祉学科 (旧課程)

教育研究上の目的

(公表方法：<https://www.matsutan.jp/college/report>)

(概要)

本学では建学の精神、教育理念・教育目標により、以下の教育研究上の目的を掲げている。

- ・豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
- ・社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
- ・地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を

考えることのできる力を養う。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要) 各学科、定められた修業年限以上の在学ならびに、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を取得した学生は、次の到着目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心を持ち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。 ・介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。 ・根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。 ・常に問題意識を持ち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追究できている。 ・介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要) 専門性の高い介護福祉士を養成するために、指定規則にある「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4領域を学習した後、これら学内での学修成果を踏まえ、多岐に渡る学外での介護実習を行う。また、介護実習を通して生じてくる疑問点を追究して、さらに実践の根拠を明確にしていく介護研究を行う。以上の学修を通じ、専門職として高齢者や障がい者への個別対応ができ、地域に貢献する必要性が理解できる介護福祉士を目指す。</p> <p>「5つの到着目標」に関連する科目構成と達成するための工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護福祉士の仕事は人間を対象とする。なかでも高齢者や障がい者と接する機会が多い仕事であるため、対人援助技術が重要である。したがって、社会の中でも人間を捉え、人との関わり方を重視し、自己の感性を高めていくとともに、相手の立場に立って考える力や信頼関係の構築に役立つ科目構成としている。 2) 介護福祉学の確立を目指し、理論的根拠を学び、実際の応用能力が得られるように授業内容を工夫している。介護予防や地域包括ケアが重視されている社会に応えることができるようにしている。 3) 介護の倫理観を養い、個別的な生活課題（ニーズ）に応えることができるよう、生命や生活に関連した科目構成としている。 4) 幅広い視野に立つためには、介護や福祉の理念や生活に関連する法律についての知識も必要になる。介護福祉士として対象者の尊厳と権利を守ることができる科目構成としている。 5) 地域に開かれ、地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるような科目構成としている。地域において介護実践力を高められるよう、多職種との連携も配慮した科目構成にしている。 6) 介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、2年次には介護研究に取り組み、その成果を発表している。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>

<p>(概要)</p> <p>本学は、「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としている。このことに共感し、豊かな感性を備え人と関わり、専門知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学生を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 介護福祉や社会福祉に関心をもち、学ぶ意欲をもっている 2) 人の立場になって考えることができる 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる 4) 人と共に協力して活動に取り組むことができる 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある

<p>学部等名 看護学科</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学では建学の精神、教育理念・教育目標により、以下の教育研究上の目的を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体系化された実践科学としての看護学を修得し、実践応用の力を身につける。 ・豊かな人間性を持った社会性のある看護専門職者として基本的な能力を身につける。 ・看護専門職者としての意識・責任感・倫理観の育成。 ・看護専門職者として、地域特性を見極めた看護が提供できる能力を身につける。 ・国家試験に合格する看護の知識と技術水準を身につける。
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要)</p> <p>各学科、定められた修業年限以上の在学ならびに、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を取得した学生は、次の到着目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在であると理解している。 ・看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している。 ・看護の本質を学び、自己の看護観をもっている。 ・学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている。 ・自己成長のための努力をしている。 ・地域の特性を理解し看護に反映している。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report)</p>
<p>(概要)</p> <p>教育目標およびディプロマ・ポリシーおよび看護師養成所指定規則に則り以下の方針に沿ってカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ケアスペシャリストとしての人間性を育成するために、「ひとの命と健康を考える」、「ひとの可能性を考える」、「ひとの権利を考える」、「ひとの生活を考える」、「学修の基礎力を培う」に基づく看護関連科学の科目を配置する。 2) 看護のケアスペシャリストとして、看護実践に必要な知識・技術を身につけるための看護専門科学の科目を配置する。 3) さらに1)・2)の科目を統合・発展し実践する分野として看護専門科学に統合分野を配置する。 4) 地域の保健医療福祉および教育に貢献できる人材育成のために、3 学科共通の地域

志向科目を配置する。 5) 看護師国家試験合格に向けた知識と活用力を強化する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report)
(概要) 本学の教育理念をもとに看護学科では「生命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」としての看護師を育成する。それに基づき次のような学生を求める。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 人の健康、生活、医療に興味・関心がある 2) 誠実に人と向き合える 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる 4) 周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
幼児保育学科	—	4人	2人	2人	1人	0人	9人
介護福祉学科	—	3人	1人	2人	0人	0人	6人
看護学科	—	3人	0人	5人	5人	1人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		34人					34人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児保育学科	100人	99人	99.0%	200人	194人	97.0%	-人	0人
介護福祉学科	40人	32人	80.0%	80人	60人	75.0%	-人	0人
看護学科	-人	-人	-%	140人	116人	82.9%	-人	0人
合計	人	人	%	420人	370人	88.1%	-人	0人
(備考)								
<ul style="list-style-type: none"> 看護学科：令和3年度募集停止、収容定員、在学生数は様式第1号Ⅲに基づき記載。 編入学定員に関して記載事項はありません。 								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児保育学科	97人 (100%)	2人 (2.1%)	95人 (97.9%)	0人 (0.0%)
介護福祉学科	28人 (100%)	1人 (3.6%)	27人 (96.4%)	0人 (0.0%)
看護学科	69人 (100%)	0人 (0.0%)	68人 (98.6%)	1人 (1.4%)
合計	194人 (100%)	3人 (1.5%)	190人 (97.9%)	1人 (0.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 教育課程委員会が主となり、作成過程(スケジュール)ならびに記入項目の検討を行ったのち、授業担当者へ執筆の依頼を行う。原稿集約後は、各学科ならびに事務局教務部の学科担当、教育課程委員会が点検を行う。授業計画書(シラバス)は、例年4月以降に、インターネット(本学ホームページ)および紙媒体による公表を行っている。シラバスに記載している主要な内容は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業概要(科目名、単位数、必修選択別、授業形態、開講年次、開講時期、担当教員) 授業内容(授業計画、授業概要、事前・事後学修)

・実務経験と授業科目との関連性 ・到達目標 ・成績評価方法 ※様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の該当部分を再掲
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 定期試験、実技試験、レポート評価、提出物など授業科目ごとに学習計画書(シラバス)に示された方法を用いて学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位の認定を行っている。

なお、卒業認定については、ディプロマ・ポリシーに加えて各学科が指定する卒業要件を満たした学生に対し、学科での卒業判定会議および教授会の議を経て、卒業を認定し、学位を授与している。 ※様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】該当部分を再掲

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	幼児保育学科	62 単位	有・無	単位
	介護福祉学科(新課程)	68 単位	有・無	単位
	介護福祉学科(旧課程)	76 単位	有・無	単位
	看護学科	104 単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report 刊行物(教育課程・学生生活ガイド) [入手方法: 本学事務局]
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	幼児保育学科	975,000 円	200,000 円	0 円	
	介護福祉学科	975,000 円	200,000 円	0 円	
	看護学科	1,100,000 円	200,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 本学では、以下の取り組みを通して、学生の修学に係る支援を行っている。 ・教員によるオフィスアワーを設定し、修学上の様々な相談に対応。 ・各種奨学金の採用について、学内説明会の開催等の実施。 (日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金、保育士修学資金、介護福祉士等修学資金など)
b. 進路選択に係る支援に関する取組

<p>(概要)</p> <p>本学では、以下の取り組みを通して、学生の進路選択に係る支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履歴書や作文の添削や、模擬面接等の個別指導の実施。 ・外部講師による適性診断の実施やマナー講座の実施。 ・学内での就職セミナー（会社説明会）の実施。 ・資格取得のための模擬試験の実施。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初のオリエンテーション時に、健康管理についての指導や健康診断による学生の健康状況の把握に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.matsutan.jp/college/report
--